令和2年5月　第28号　認定NPO法人さわおとの森　発行責任者:理事長 清野精維

広報 さわおとのもり

新型コロナウイルス感染症に伴う障害福祉の現状

【理事長 清野精維】

新型コロナウイルス感染症拡大により緊急事態宣言が４月に出され、感染抑止のための外出や移動自粛や休業要請等が国や自治体から発令されました。そして密閉・密集・密接の３密を行わないようにと何度も言われております。その中でクローズアップされているのが病院機能の疲弊でありますが、福祉業界も同様な状態となっております。

千葉県にある障害者支援施設では、３月末に入所者と職員５８人の感染が判明。４月末時点で１２１人の感染を確認しております。知的障害のある方が入院すれば病院の負担が重くなるため、主に施設内での診療が行われています。介護施設も同様に施設内での集団感染が多く出ており、死亡者まで出ています。障害や高齢者施設は、食事を口まで運んだり入浴や排せつの介助をしたり、難聴の人には耳元で話さなければならず「密」が避けられないので、医療機関よりハードルが高いと言えます。また、重度知的障害や認知症の方はマスクや手洗いをうまくできないほか、施設内を無意味に歩き回ったりするためエリアを分けるゾーニングも出来にくいなど感染予防が難しいと言えます。

感染した施設では、防護服をまとい汗だくで働いているため、今後は熱中症の不安もあります。また他の施設や自治体からの応援職員もおりますが、利用者特に知的障害だとなれない職員のために動揺する方もおります。

一方、就労継続や放課後等デイサービス事業所などの通所系の障害福祉サービス等や老人のデイサービスなどの介護事業所では、感染予防のために休業しても利用児者が休むとその分給付費が入らない仕組みのため、感染予防を徹底しての開業をせざるを得ない状況なのです。ちなみに幼稚園や学校・認可保育所等は、休業や児童数が減っても満額の運営費が入る仕組みのために、長期の休業や利用自粛を保護者に要請しやすいのです。

そこで国では、利用児者数の縮小や臨時休業する場合でも、休んでいる利用児者宅へ電話や訪問などで健康管理や相談支援等を行うことは、家庭の孤立化防止や、支援が必要になった際の適切な介入のきっかけとなることが重要。また、自宅にとどまることでの利用児者や保護者にかかるストレス緩和や、円滑な通所再開のためにも、事業者と保護者、利用児者がコミュニケーションすることが望ましいと言っております。これを代替サービスと言います。これを実施した場合に通常の請求を行っても構わないのですが、1 割の負担が発生することへの保護者等の理解が求められるので、実施できない事業所も多数あります。

３月からの学校休業により、当初は放課後等デイサービスや学童保育では大幅な利用増に対応するようにと国からの要請があったのですが、ふたを開けてみると、保護者等からの利用自粛により運営が苦しくなっているのが現状です。早く新型コロナウイルス感染症が収束することを願っております。

地域支援マネージャー・あとれ・専門職

発達障害者地域支援マネージャー配置事業

昨年度から配置事業が始まりました。保育園や幼稚園、学校や各事業所、行政の担当者と連携しながら、地域に住む支援を必要としている方々を応援します。また、地域の家族支援のための学習会なども取り組んでまいります。

療育長
臨床発達心理士
齋藤　純子

臨床発達心理士
今野　智恵美

療育支援事業「あとれ」「あとれ黒川」

日々の子育ての不安や悩み等について、電話や訪問、来所による相談を行っています。保護者や支援者の方と手を携えてチームで支援していきたいと思います。受給者証がなくても利用できる相談事業です。

保育士
佐々木　正美

作業療法士
工藤　理恵

作業療法士
髙橋　麻理

臨床発達心理士
安藤　のぞ美

育児休業中

言語聴覚士
山田　美咲

各専門職

【公認心理師】

お子さんの健やかな成長を願い、発達全般と保護者の疑問や不安に寄り添う相談を担います。

冨永　恵子

岡　里美

【言語聴覚士】

言葉やコミュニケーション、安全に美味しく食べる食に関わる機能の発達を見守っています。

鈴木　和子

伊藤　洋子

こども発達センターあかいしの森

児童発達支援「みち」

従来の児童発達支援事業「むーとん」の時間帯とは別に、個別もしくは小集団で午後に活動します。

母子通園を経験した年中児以上を対象に、祝日・長期休みを除く火曜日と木曜日に行います。

内容は、個別課題、制作、運動などを重点に且つ、おやつにも目的を持って取り組みます。

令和２年５月に体験日を設定し、６月から始動していく予定です。

今年度から、初めての取り組みになりますので、保護者の要望なども取り入れながら、より細やかな支援を提供できるように努力していきたいと思います。

いちごの会紹介

身体にハンディのある子ども達に合った活動や体験を経験してほしい！その想いから法人内の看護師４名が中心となり「いちごの会」を平成３１年３月に立ち上げ、児童発達支援・放課後等デイサービスを利用している子ども達とその保護者の方を対象に、平成３１年３月と令和元年９月の２回開催してきました。

手遊びや身体全体を使った遊び等を通して、普段の活動では見る事ができない子供達の豊かな表情を見る事ができ、関わった職員も次の企画を考えながら、ワクワクしている状況です。残念ながら新型コロナウイルスの影響で今年度の開催は見送りますが、今後もよろしくお願いします。

担当：本舘千枝

「さわおとの森の１０年先を考える委員会」の開催

（１）開催状況

ワーキング３回、委員会４回開催し、その成果として、委員会からの提案という形で報告書をまとめた。

（２）基本的な考え方

１０年先を考える視点として、①人材・職員の育成、②運営方針と事業の展開、③施設整備－の３項目に分類し、これに従って基本的な考え方を示した。

①では、正しい知識を身につけること、職員の自主性を求め、②では、複眼的な視点・発想と福祉ＱＣ活動の実践を、③では中長期での施設整備を念頭に置きつつ、使い勝手の良い清潔感のある施設づくりが望ましいとした。

（３）報告書の要点

障がい者支援に向けた動きを注視しながら、「社会福祉基礎構造改革」の現在地を把握することはもちろんのこと、障がい児への支援、障がい者との向き合い方について、利用者の最善の利益を考慮し、福祉サービスを展開していく必要があることを明示している。

文責：委員会事務局　髙橋

さわおとの森　ボランティア部

昨年度も年間を通して現在学生の皆さんに当法人を知ってもらい、積極的に活動へ参加してもらえるような取り組みをしてまいりました。

令和元年６月１７日
学生向け勉強会

令和元年１１月日
FUKUSHI 就職フェア in みやぎ

令和元年 11 月 14 日,21 日
仙台医療福祉専門学校
勉強会　→　各園活動体験

令和元年 12 月 5 日
仙台医療福祉専門学校
出張勉強会

編集後記

中国武漢から発症したと言われている新型コロナウイルス感染症による感染者が、世界で５００万人を超え、死者３２万人と猛威を振るっている状態となっておりますが、科学と医療が進んでいる現代でもかなわない敵。これは、人類に対する自然の警鐘なのか。

いずれにしても、終息することを願いながら、３密を避け手洗いとうがいの徹底を行い感染しないことです。皆さん頑張りましょう。

ご寄付並びに賛助会へのご加入のお願い

当法人では、設立当初より皆様の温かいご寄附並びに賛助会費のご協力を頂いており、厚く御礼を申し上げます。この寄付金・会費にて遊具の購入や建設費に充てさせて頂いております。

今年度も皆様のご協力をお願い申し上げます。

多機能サポートランドさわおとの森

総務部

短期入所・居宅

生活介護　わのみ

放課後等デイサービスくるみクラブ

放課後等デイサービス　くるみクラブ

コロナウイルスの影響で外出も制限される中、くるみでは人手の少ない場所へのドライブ外出を実施し、子供達の気分転換、体力維持の散策活動を実施しております。

今後、学校が再開されますが、子供達の様子に留意し、学校・ご家庭とも連絡を取りながら、感染症にならないよう努力していきたいと思います。

生活介護わのみ

今年度は、コロナウイルスの影響もあり、可能な範囲での活動をしている状況ではありますが、その中で活動について都度検討しながら過ごしています。

まずは、みんなで楽しみながら頑張っていきますので「わのみ」をどうぞよろしくお願いします。

短期入所

ご利用される皆様の安全を第一に、換気・消毒・検温等徹底して、過ごしております。土日の活動では、活動を分散して密にならないように気を付けながら、気分転換できるよう活動しております。皆様にとって安心かつ楽しむことが出来る場所となるよう尽力して参ります。今年度もどうぞよろしくお願い致します。

居宅介護・行動援護等

感染症不安の折ですが、健康維持や生命維持に必要な通院などは生活の中で優先度が高い事項のため、できる限りサービスを継続していく考えです。

また、休校のため平日在宅で長時間過ごすことでストレスを抱えたり、免疫力低下のリスクが増えるケースも考えられますので、行動援護等においても柔軟に対応してまいります。

＊＊新任職員＊＊

太田安里紗
一生懸命頑張ります！
よろしくお願いします。

＊＊＊

塩竈市ひまわり園紹介

新緑の美しい、さわやかな季節となりました。

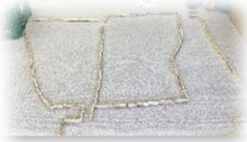
さて、令和２年度はひまわり園もまた違ったカラーとなりました。職員紹介とひまわり園の活動を報告させていただきます！

児童発達支援　ひまわりキッズ

未就学（令和元年度）活動の様子です。お散歩に行ったり、太鼓や泥遊びなど様々な活動からいろいろな経験を重ねています。

放課後等デイサービス　ひまわりクラブ

学童（令和元年度）活動の様子です。近くのお店にクッキング活動や社会体験施設におでかけ、制作など体験をしながらできることを増やしていきます。



＜職員紹介＞

園　長
伊丹　正美

統括主任
藤原　洋子

リーダー
早坂　祐二

保育士
芳賀　真澄

児童指導員
佐藤　優子

今年度も元気に活動していきます！
よろしくお願い致します。

育休中
久光　志帆

女の子が生まれました！

児童指導員
高橋　辰徳

地域拠点センターふきのとう

「地域拠点センターふきのとう」は、２市３町からの委託事業として４年目をむかえました。

昨年度以前と同様に、

① 地域生活支援拠点等事業としての緊急の相談・駆けつけ・預かり

② 基幹相談支援センターとして地域の相談支援事業所のバックアップ

③ 宮城東部地域自立支援協議会の運営事務局

を行っていきます。

こども発達センター
あかいしの森

■児童発達支援■むーとん

門脇玲子(主任)　山田裕子センター長

むーとん(未就学)は、まめぐみ・はなぐみ・そらぐみの３クラス編成です。現在は新型コロナウィルス感染拡大の不安から、通所児が減少する中で“通所に代わるサービス”を併せて行っています。

あかいしの森では消毒、換気を徹底しながら、この時期だからこそ今まで以上に思い切り楽しみ、笑いを通して様々な不安やストレスから解放されることを目指し、日々の活動を提供しています。

今年度は専門職員を新任に迎え、保護者と子ども達の笑顔を引き出すために、職員一同全力で支援に臨んで参ります。

大瀧裕美　荒谷稔奈　熱海久美

佐藤佳菜子　岩崎亜衣　神山恭彩

成沢さおり　今村しげ子(ﾘｰﾀﾞｰ)　内海謙太朗

(左)小島節子
(右)野崎美智子

■放課後等デイサービス■ぴーす

小学生から高等部までの学童の子どもたちが元気に通ってきています。季節の制作やお買い物体験、お出かけなど楽しく活動しています。

今年度は専門職員を新メンバーに迎え、明るく元気な声があかいしの森に響いています。

渡部龍樹(リーダー)
二科壮太(主任)　佐藤靖宏

吉原あすな　鈴木千尋

■こども相談支援■
つくしんぼ黒川

支援が必要と認められる方々(主に児童)の自立した生活を支え、ご本人等の抱える課題の解決や適切なサービスの利用に向けて、「障害児支援利用計画」等を作成し、様々なサービスにつなげるための相談支援事業を行っています。

(上段)　上田美香　佐々木美由紀　二科壮太(兼務)
(下段)山田裕子管理者　佐々木正美(兼務)　高橋麻理(兼務)